

## 27 図解表現力向上研修

【合同研修】

～ 簡潔でわかりやすい資料を作成する ～

目的	読み手（住民）にとって短時間で理解してもらえるよう、実用的な図解の作り方・使い方と、図解を活用した論理的なストーリーの組み立てにより、「簡潔でわかりやすい」資料に作り上げる手法を習得する。			
内容	(1) ビジュアル表現を使ったわかりやすい資料の作り方を身につける。 (2) 「何が言いたいかわからない」と言われたいひと目で伝わる表現法を学ぶ。 (3) 上司や他部署、県民・住民等から理解と納得を引き出す説明方法を習得する。			
実施年月日	第1組：令和6年 7月19日（金） 第2組：令和6年10月 1日（火） 第3組：令和6年10月 2日（水）	定員	各組 36名（市町村職員18名 県職員18名）	
対象者	（市町村） 採用2年目～係長等未満の職員 （県） 中堅キャリアアップ研修対象者で、受講を希望する職員			
実施場所	大分県自治人材育成センター			
推薦期限	令和6年 6月14日（金）	《第7回》	経費内訳	内訳表1
指定ホテル	—	その他留意事項	—	
研修講師 （プロフィール）	【一般社団法人 日本経営協会 講師 木村 仁美（きむら ひとみ）氏】  アップルセンター江坂トレーニング課長としてトレーニング事業を立ち上げ、運営・企画・テキスト作成・広報など、トレーニングのマネジメント全般を手がけ、その傍ら、自ら教壇に立つ。 後輩の育成として、アップルセンター認定DTPオペレータ及びトレーナーを輩出する。 1999年2月に独立。現在同志社女子大学学芸学部メディア創造学科（2018年に情報メディア学科から改名）の非常勤講師としてITスペシャリストの育成に携わるほか、企業・各種団体向け研修などで講師として活躍。			
受講者の声	<ul style="list-style-type: none"> <li>・たくさんの事例を皆さんと話すことができ、色々な考え方や捉え方、描き方があることがわかった。</li> <li>・演習問題をする中で実際に図解化することができました。また、同じ班の他市町村の方と協力し、皆で意見を出し合い一つの回答を見出すことができたこと、そして他の班の回答等も違った発想等を学ぶことができました。</li> <li>・表現方法について詳しく説明があり、実習の方法もとてもわかりやすい内容だった。</li> <li>・皆の考えた意見を取り入れながらグループとしての答えを出していくワークがとても楽しかった。</li> <li>・頭の中にイメージしたものを、図にする作業が苦手でしたが、基本的なコツを学べたので、啓発資料などに生かしたいです。</li> </ul>			
備考				

## 時間割

		9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00
		8:50	20	30					30	
1日目	受付	オリエンテーション	1 図解とは 2 図解の目的 ～なぜ、図解をするのか 3 図解への最初の一步 ・要約する ・簡潔書きにする ・不要な情報を省く 4 図解の基本形 5 図解のパターン 【演習】図解作成演習①	昼食	6 伝わる図解のためのテクニック 【演習】図解作成演習② まとめ	閉講				

※上記内容は、研修実施時に変更されることがありますので、予めご了承ください。